

【資料 1】

第8期 第1回

令和6年10月22日（火）

舞鶴市のごみ減量の状況について

1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(1) ごみ処理基本計画の目標値

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

2. 各施設の状況について

(1) 清掃事務所の取り組みについて

(2) 一般廃棄物最終処分場について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

(4) リサイクルプラザでの製品プラ回収について

3. その他

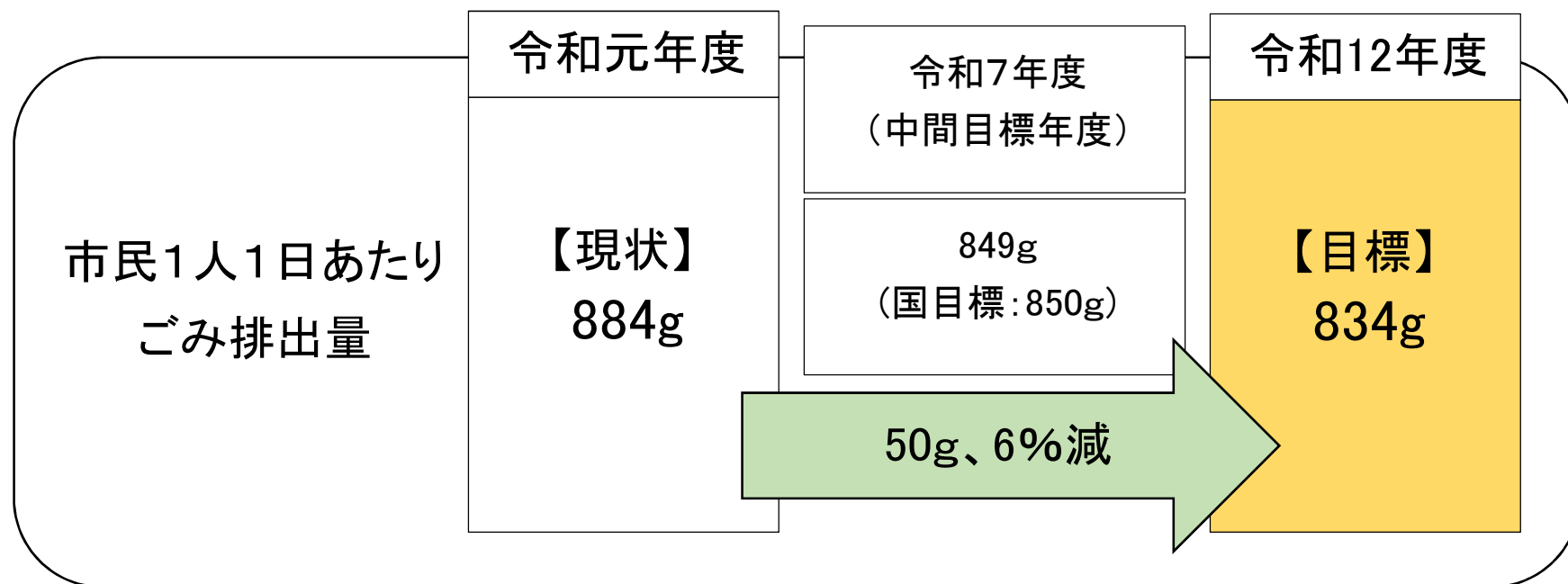
(1) 今後のスケジュール（予定）

1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(1) ごみ処理基本計画の目標値

目標値

ごみ減量において最も重要な指標となる市民1人1日あたりごみ排出量について、令和12年度に834 g/人・日とし、10年間で50 g、6%減量する目標を設定しています。

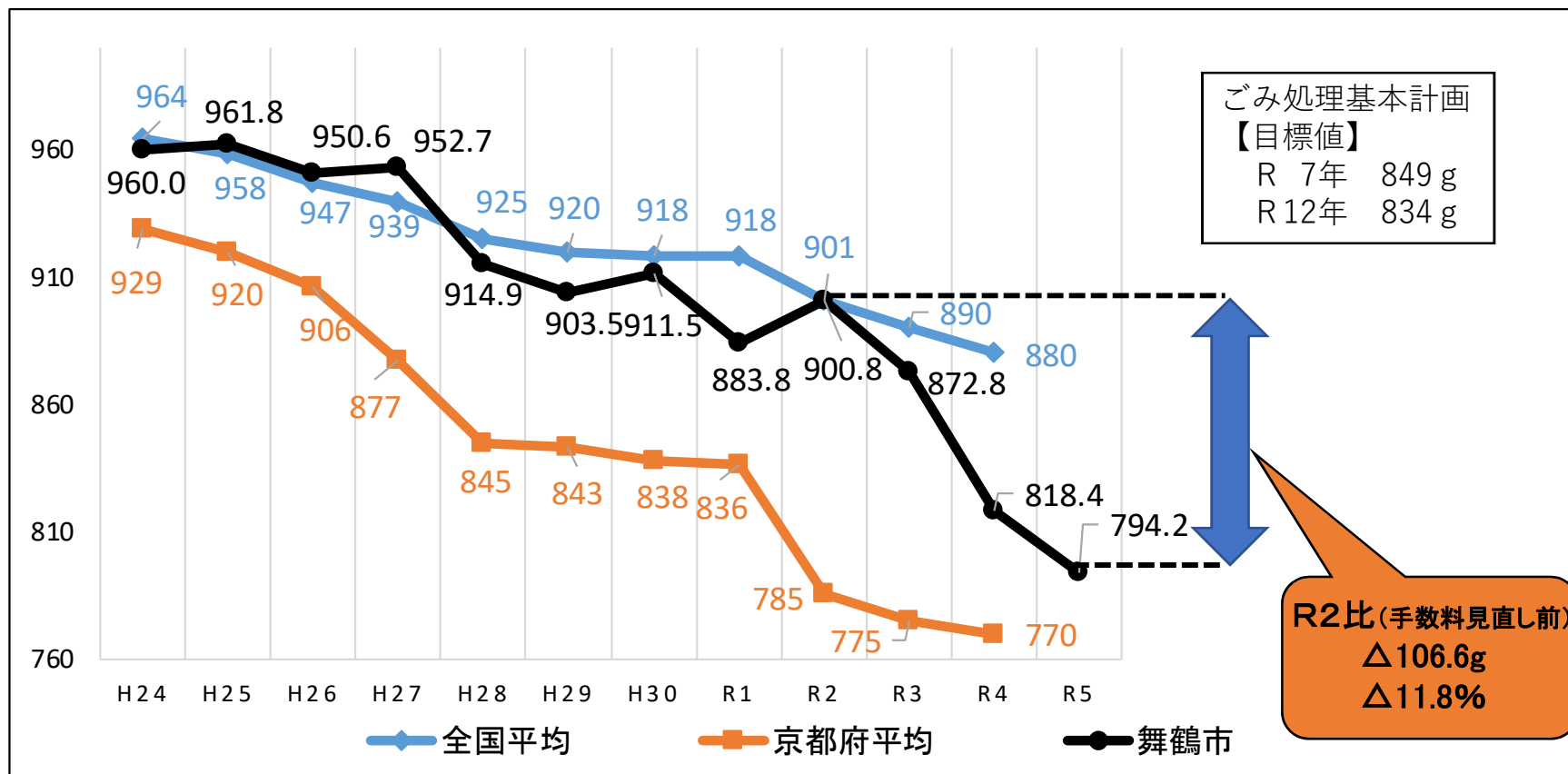


1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

① 1人1日あたりごみ排出量の推移について I

- 令和5年度の1人1日あたりごみ排出量は通年で794.2g、前年比3%減。
- 手数料見直し前の令和2年度と比較すると11.8%減となっている。
舞鶴市でのごみ減量は大きく進んでいるが、京都府内ではさらにごみ減量が進んでいる。

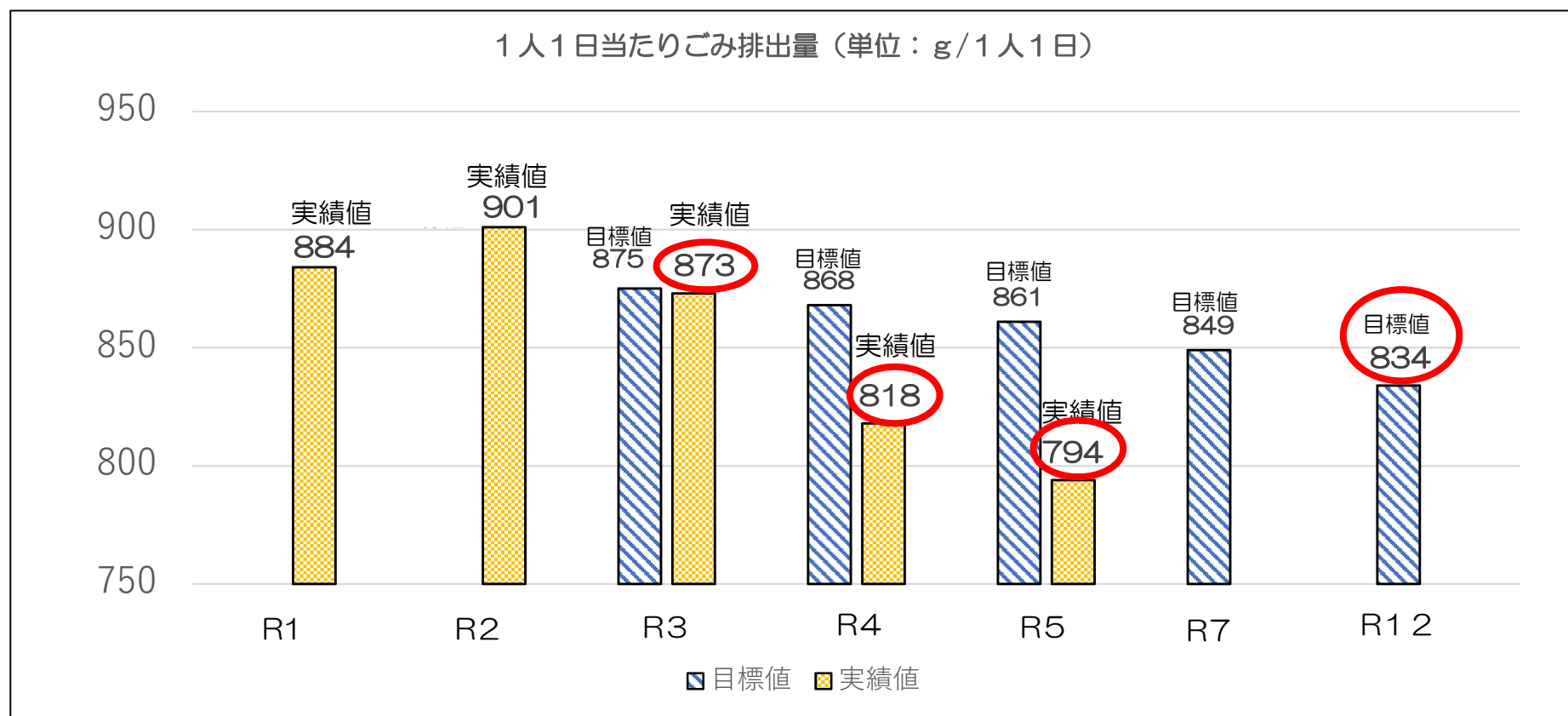


1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

① 1人1日あたりごみ排出量の推移について II

- ・ごみ処理基本計画では、1人1日あたりごみ排出量の目標値を令和元年度実績884gから、令和12年度には834gとする目標を設定している。
- ・令和5年度の実績は目標値を上回る794gとなっており、中間目標年度である令和7年度には目標値の見直しを検討。



1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

②ごみ減量、資源化、最終処分の状況

- ・令和5年度の1人1日あたりごみ排出量、1人1年あたり最終処分量は減少しており、ごみ減量・埋立量の削減が進んでいる。
- ・引き続き、京都府内の状況を意識し取り組みを進める必要がある。

	舞鶴市				京都府 令和4年度 府内平均	舞鶴市ごみ処理計画 R12(目標値)
	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績		
1人1日あたり ごみ排出量	900.8g	872.8g	818.4g	794.2g	770g	834g
資源化率	14.0%	14.1%	14.2%	※ 13.6%	14.7%	17.5%
1人1年あたり 最終処分量	52.0kg	52.3kg	44.7kg	44.3kg	36.4kg	41.6kg

※令和5年11月から清掃事務所において飛灰リサイクルを開始（令和6年3月までのリサイクル量：178.0 t）。令和5年度資源化率実績に含めると14.4%になる。

1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

③ごみ排出量について

- ・ごみ排出量については、人口減少に伴い年々減少傾向にあるが、令和5年度の減少割合は大きくなっている。

※令和2年度から令和5年度の人口減少率：△5.0%

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
ごみ排出量(t)	26,219.2 t	24,985.7 t	23,066.2 t	22,030.3 t	△4,188.9 t △16.0%
可燃ごみ(t)	20,150.3 t	19,366.9 t	18,452.2 t	17,737.7 t	△2,412.6 t △12.0%
不燃ごみ(t)	3,025.3 t	2,846.5 t	2,249.7 t	2,124.1 t	△901.2 t △29.8%
粗大ごみ(t)	1,140.3 t	1,072.3 t	821.2 t	773.0 t	△367.3 t △32.2%
古紙等(t)	1,903.3 t	1,700.0 t	1,543.1 t	1,395.5 t	△507.8 t △26.7%

古紙等＝古紙直接搬入＋集団回収＋分別回収

1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

④ 1人1日あたりごみ排出量について

- 令和5年度の1人1日あたりごみ排出量は、令和2年度比で106.6 g 減。
全品目で排出量が減少しているが、粗大ごみでは28.8%減、不燃ごみでは26.3%減、古紙等23.1%の順で減少割合が大きい。

	R2	R3	R4	R5	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
1人1日ごみ排出量 (g/1人1日)	900.8 g	872.8 g	818.4 g	794.2 g	△106.6 g △11.8%
可燃ごみ(g/1人1日)	692.3 g	676.5 g	654.7 g	639.4 g	△52.9 g △7.6%
不燃ごみ(g/1人1日)	103.9 g	99.4 g	79.8 g	76.6 g	△27.3 g △26.3%
粗大ごみ(g/1人1日)	39.2 g	37.5 g	29.1 g	27.9 g	△11.3 g △28.8%
古紙等(g/1人1日)	65.4 g	59.4 g	54.8 g	50.3 g	△15.1 g △23.1%

1. ごみ処理基本計画の目標値とごみ減量の状況について

(2) ごみ減量・リサイクルの状況【概要】

①令和6年度の不燃ごみ取り残し状況（収集できないごみ） ※単位：袋/月

- 1カ月間に取り残しとなる不燃ごみの袋数（月平均）は、ごみ処理手数料見直し前の令和2年度と比較すると見直し後に大きく増加したが、市民啓発に努める中で、年々減少してきている。

主な分別間違い

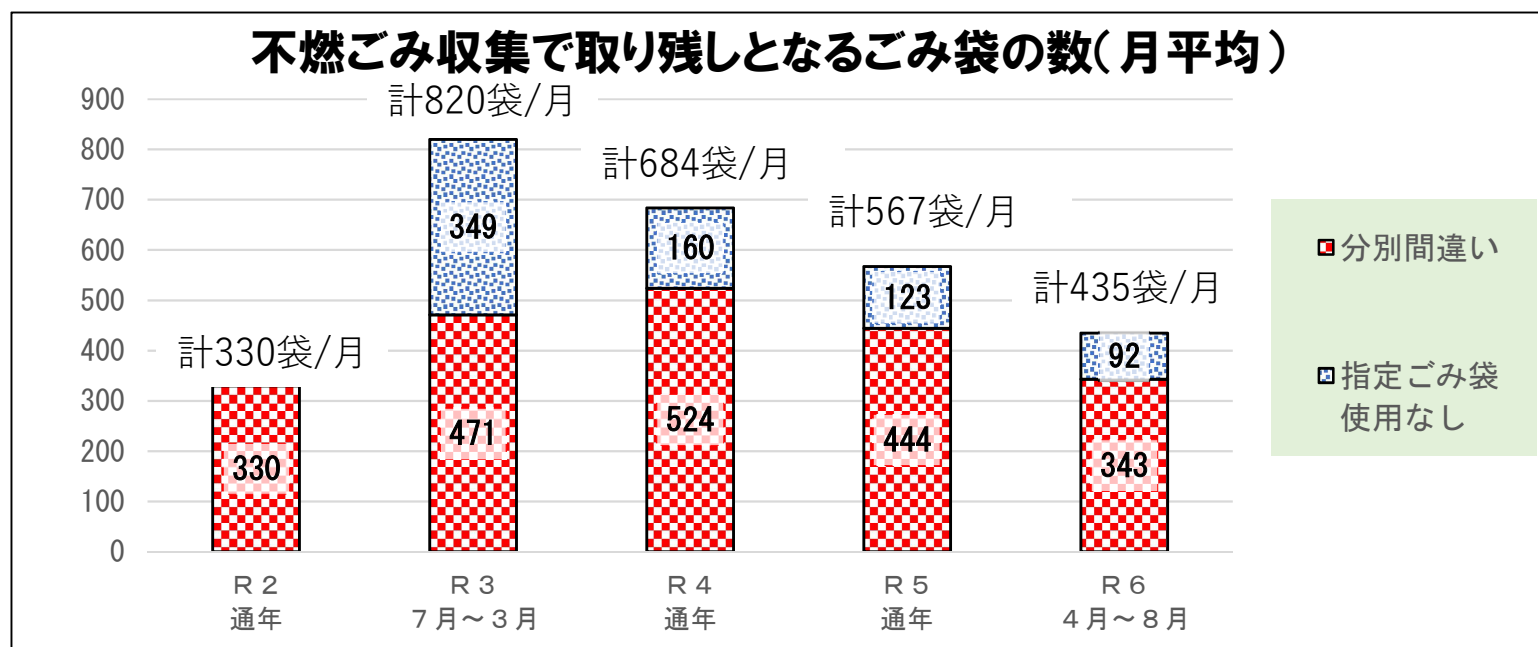
埋立ごみ

⇒可燃ごみが埋立ごみとして排出されているもの

プラスチック容器包装類

⇒プラスチック製品が混入しているもの

汚れのあるものが混入しているもの など



2. 各施設の状況について

(1) 清掃事務所の取り組みについて

(2) 一般廃棄物最終処分場について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

(4) リサイクルプラザでの製品プラ回収について

2. 各施設の状況について

(1) 清掃事務所の取り組みについて

① 施設の老朽化による更新工事の概要 (令和元年～5年)

第1工場は整備から25年経過したことから、焼却設備（焼却炉内のレンガやガス冷却施設など）の基幹設備の更新を行った。

■ 総事業費：約37億円



② 施設の変更点

- ・ 焼却炉の24時間運転により焼却処理能力は80 t / 日から120 t / 日に増加。
- ・ 飛灰（排ガスに含まれるばいじん）のリサイクル（R5年11月開始）。
- ・ 第2工場は休炉。



ジェットパック車による飛灰の搬出・輸送

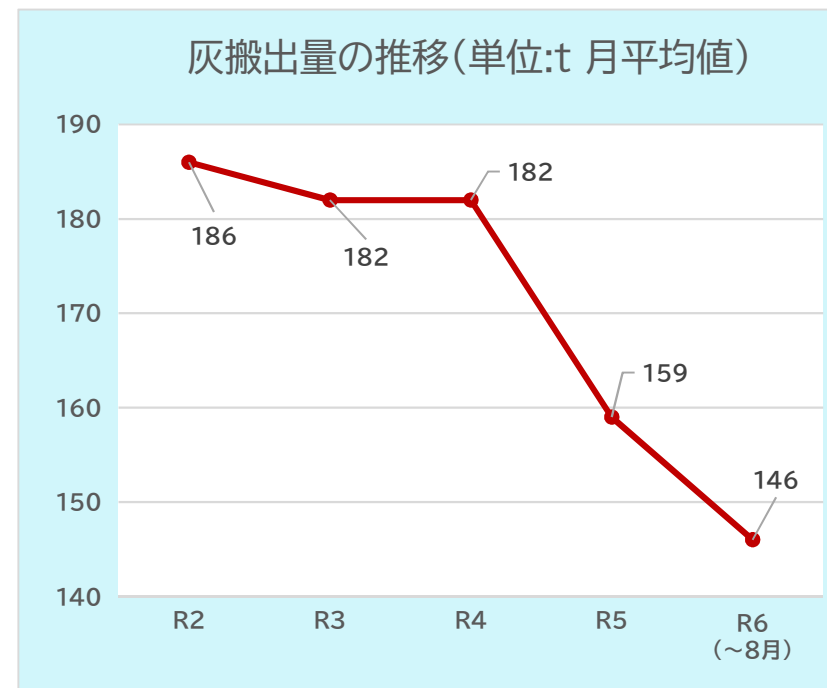
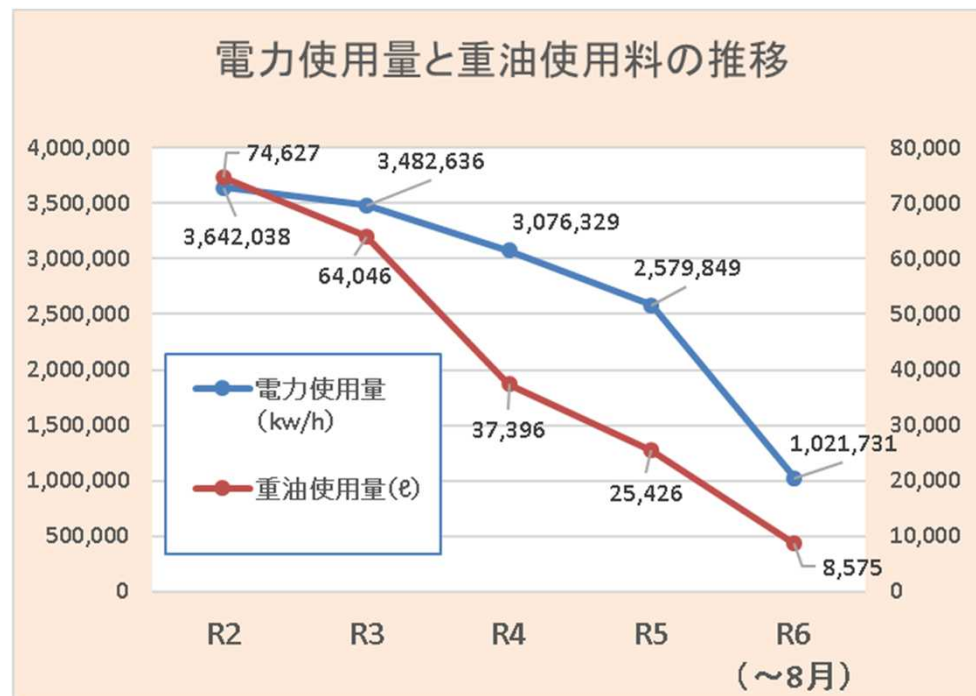
2. 各施設の状況について

(1) 清掃事務所の取り組みについて

③ 長寿命化工事による省エネ等の効果・実績

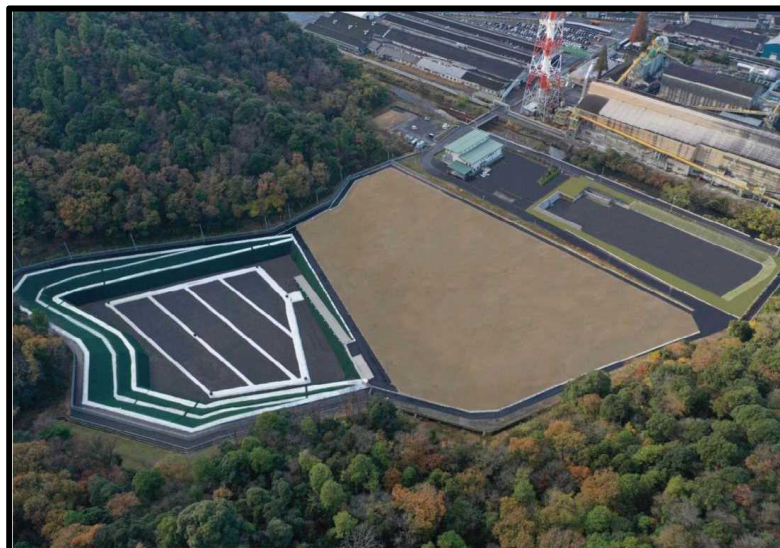
- ・ 重油使用料 ⇒ 約66%減 (R2年度とR5年度での比較)
- ・ 電気使用量 ⇒ 約30%減 (R2年度とR5年度での比較)
- ・ 灰搬出量 ⇒ 約22%減 (月平均値 R2年度とR6年度との比較)

※一般廃棄物最終処分場への搬入量



2. 各施設の状況について

(2) 一般廃棄物最終処分場について



供用開始:令和4年度
処理能力:埋立ごみ容量10万 m^3
水処理能力100 t / 日
供用期間:約15年間

※総事業費:約16億円

①舞鶴市一般廃棄物最終処分場 新処分場の供用

・年間埋立量 (実績)

令和5年度 3,458.0 m^3 (R2比 3,026.0 m^3 減、46.77%減)
(参考)

令和2年度 6,484.0 m^3

令和3年度 7,128.6 m^3 (最終覆土含む)

令和4年度 4,047.5 m^3

②社会見学の受け入れ

- ・小学校4校の見学を受け入れ。
- ・ごみの減量と最終処分場の供用年数との関わりについて説明。

2. 各施設の状況について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

① リサイクルプラザの処理施設の現状

- 供用開始 平成10年3月
- 経過年数 27年
- 運転時間 5h/日×20日/月
- 耐用年数 15年（機械設備）



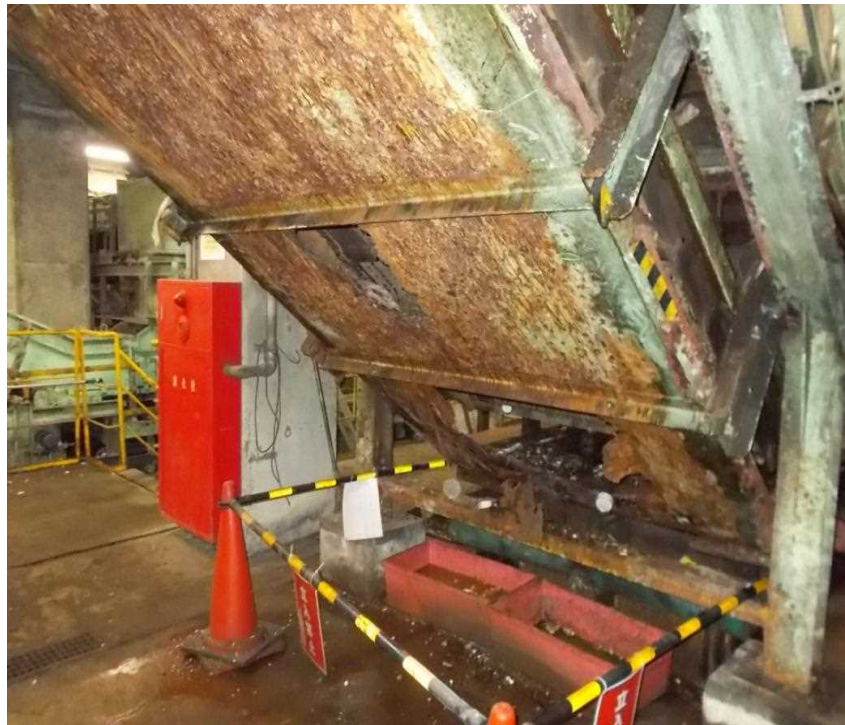
2. 各施設の状況について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

② 機器の劣化状況

主な不具合箇所

- ・ 機械を支える金属部 金属疲労やサビなどによる腐食が進行（写真）
- ・ 油圧機器 配管等から油のにじみ、漏れがある。
- ・ 交換部品 生産中止となり入手が困難である。
- ・ その他 省エネ対応でない。



工場棟 地階
金属類ダンプソケット
落下防止板

2. 各施設の状況について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

③スケジュール

長期計画		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
整備工事		● 予算要求	←→ 実施設計 ● 予算要求	→ 工事開始 → ～令和12年		
循環型社会形成推進交付金	実施設計費分	←→ 交付額調整	▲ 交付申請 ▲ 交付決定			
	工事費分		←→ 交付額調整	▲ 交付申請 ▲ 交付決定		
長寿命化計画		←→ 策定		→ → ～令和12年		

2. 各施設の状況について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

④工事の概要（主な改修ポイント）

- 施設の主要機器全体の新替えでなく、使用される部品の取替など整備を行います。

例：

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ア. 電動機（モーター） | 省エネ形の機器に更新（写真：コンベヤ用電動機） |
| イ. 照明機器 | LED化 |
| ウ. 劣化部品の交換・整備 | 架台等を使用される鉄鋼等の取替・補強 |

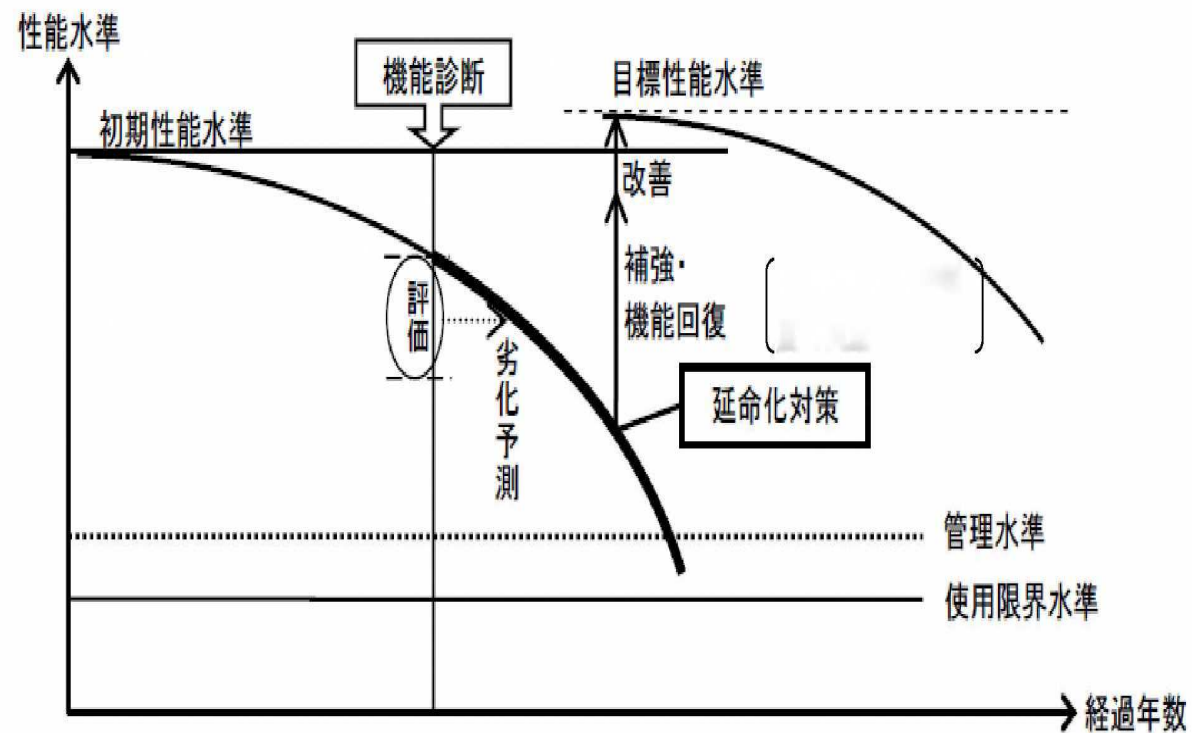


2. 各施設の状況について

(3) リサイクルプラザの長寿命化工事について

⑤工事による効果

- ・ 約15年の延命の実現



2. 各施設の状況について

(4) リサイクルプラザでの製品プラ回収について

製品プラの回収について

プラスチック使用製品の廃棄物をめぐる環境の変化に対応して、プラスチックに係る資源循環の促進等を図ります。

(埋立処理としている製品プラを有効活用します。)

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律は令和3年に制定。

プラ製品を回収することで長寿命化工事で循環型社会形成推進交付金が活用できます。

現状

	容器包装プラスチック	製品プラスチック
分別	容器包装プラスチック	埋立
内容	プラスチック製の中身込みで販売されている容器、包装	容器包装以外のプラスチック製品
例	食品トレー、シャンプーや洗剤の容器、ペットボトルのラベル、蓋、お菓子、衣類などの包装	スプーン、フォーク、箸、バケツ、ハンガー、CDケース、おもちゃ、タッパーなど
処理	再製品化、燃料化など有効活用	埋立

3. その他

(1) 今後のスケジュール（予定）

3. その他

(1) 今後のスケジュール（予定）

- ◆令和7年2月
舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
中間見直しに関する諮問予定
- ◆令和7年4月以降
中間見直しの審議（複数回）
- ◆令和8年2月
答申予定